



JSIF

Japan Sustainable Investment Forum

経済人コード円卓会議日本委員会
ステークホルダー・エンゲージメント・プログラム

世界の責任投資・ESG投資の現状と 変化し始めた日本の政策対応と機関投資家

2014年7月18日
社会的責任投資フォーラム
会長 荒井 勝

法人会員



株クレーン



KPMGあづさサステナビリティ㈱



三井住友信託銀行㈱



nikko am

日興アセットマネジメント㈱



ニッセイアセットマネジメント㈱



EIRIS



新日本有限責任監査法人



株セブン&アイホールディングス



株日本政策投資銀行



株大和証券グループ本社



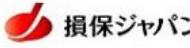
東京海上日動火災保険㈱



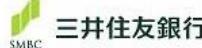
NPO法人エティック



認定NPO法人
環境エネルギー政策研究所



株損害保険ジャパン



株三井住友銀行



プライスウォーターハウスコーパスサステナビリティ㈱



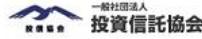
CDP



FTSE Group



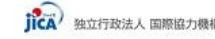
一般財団法人日本経済研究所



一般社団法人投資信託協会



ブルームバーグ エル・ピー



独立行政法人国際協力機構



株エッジ・インターナショナル



MSCI ESG Research



損害保険労働組合連合会



株QUICK



Hermes Equity Ownership Services



株イースクエア



ロイドレジスター クオリティ
アシュアランス リミテッド

JSIFは下記組織のサポートメンバーです



SRI 残高: アフリカは 22 倍 アジアは 6 倍

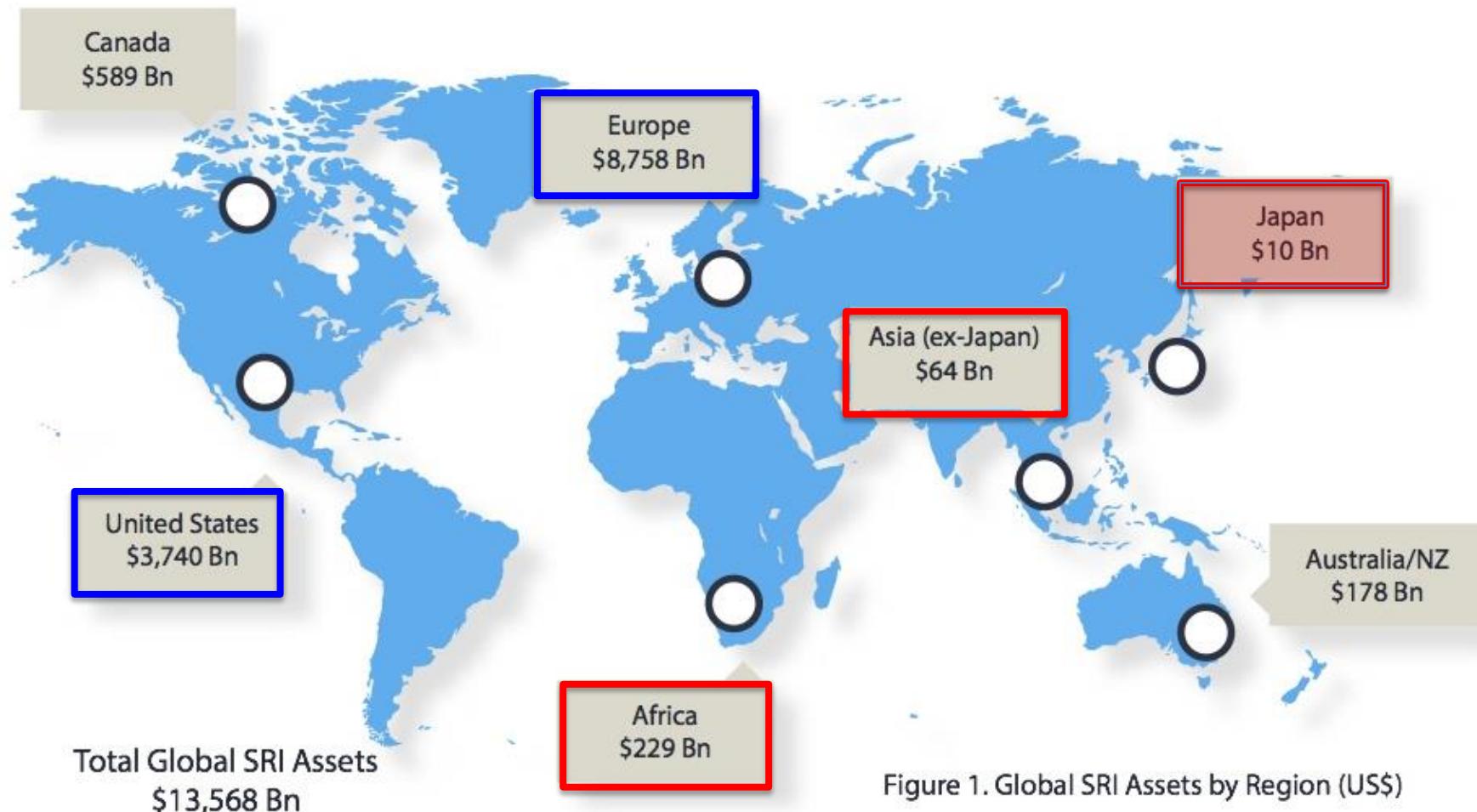


Figure 1. Global SRI Assets by Region (US\$)

出典: 2012 Global Sustainable Investment Review,
Global Sustainable Investment Alliance

1%に満たない日本のESG投資の割合 欧州は49%

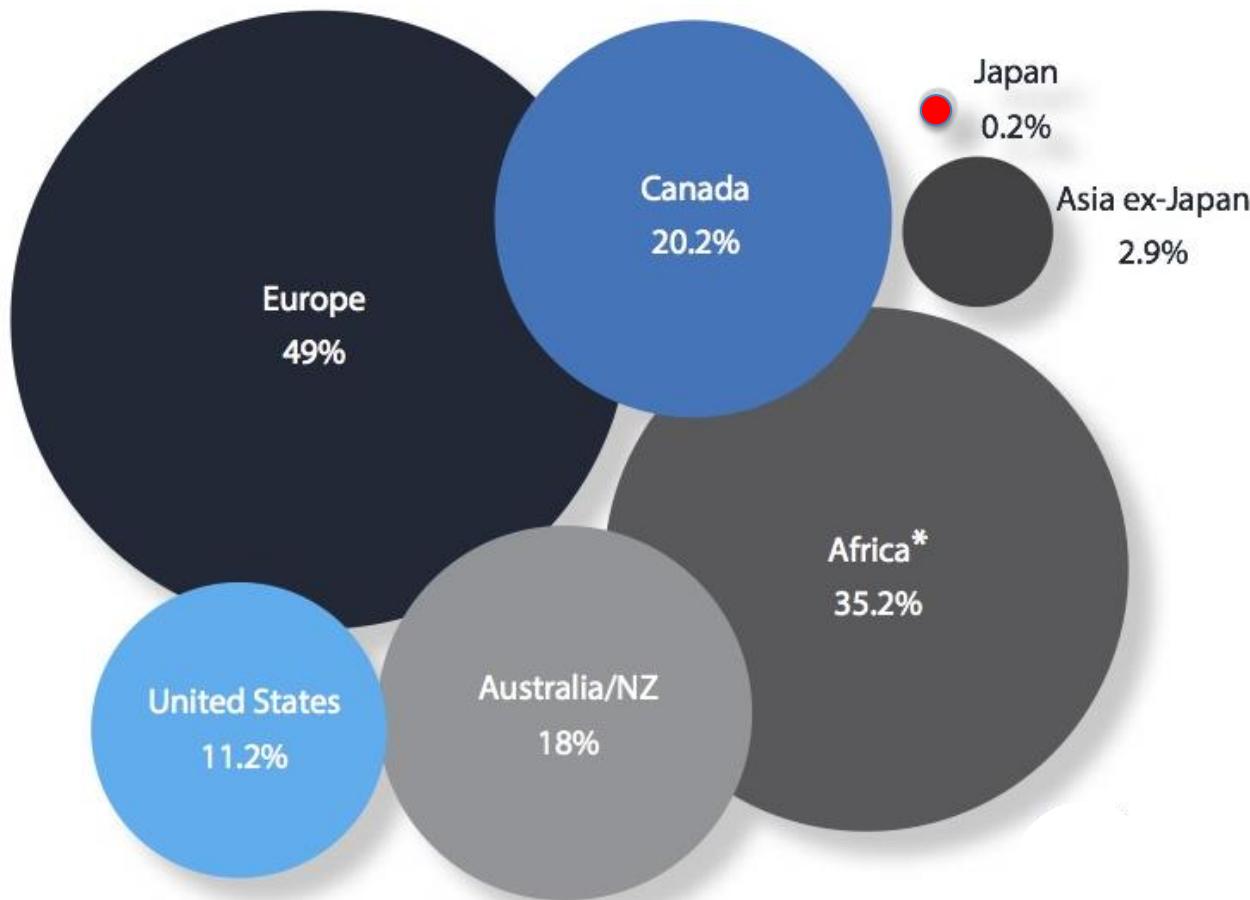


Figure 3. Relative proportion of ESG assets in total assets under management by region

出典: 2012 Global Sustainable Investment Review,
Global Sustainable Investment Alliance

世界の責任投資分類と残高

東証時価総額 約4兆5000億ドル

	分類	残高(ドル)
1	ネガティブ・スクリーニング	8兆 2740億
2	ESG投資(ESGインテグレーション)	6兆 1760億
3	議決権行使 エンゲージメント	4兆 6890億
4	テーマに基づく投資	3兆 380億
5	ポジティブ・スクリーニング ベストインクラス	1兆 130億
6	コミュニティ投資 インパクトインベストメント	890億
7	持続可能性テーマ	830億

民間投資を喚起する成長戦略

5. 長期的に持続可能な経済社会の基盤確保

(1) 持続可能性を重視した中長期投資の推進等

- ① 経済社会の発展を可能にする中長期投資、リスクテイクが行われ、イノベーションを通じて革新的技術と新たな基幹産業が生み出され、
- ② 多様なステークホルダーに価値が還元され、
- ③ 企業や社会において価値創造を担う人材が育ち、
- ④ 異なる文化・伝統を持つ国・地域が受容され、世界経済の発展に貢献し、
- ⑤ 自然や環境と共生することが必要である。

(2) 地球環境への貢献

- 攻めの地球温暖化外交戦略を進め、地球環境問題解決に積極的に貢献していくとともに、国民が良好な環境を享受することができるよう、環境汚染への対策、自然との共生、循環型社会の実現に取り組む。

その他

- 女性の力の最大限の発揮、資源・エネルギーの経済安全保障の確立、持続可能なエネルギー社会 等

政策の取り組み

アベノミクス三本の矢

I. 大胆な金融政策

II. 機動的な財政政策

III. 民間投資を喚起する成長戦略

1. 公的・準公的資金の運用・リスク管理等の高度化等に関する有識者会議（内閣官房）
2. 「責任ある機関投資家」の諸原則
『日本版スチュワードシップ・コード』（金融庁）
3. 企業報告ラボ（経産省）
4. 「持続的成長への競争力とインセンティブ～企業と投資家の望ましい関係構築～」プロジェクト（経産省）
5. グリーンファンド（環境省）
6. 女性の活躍「見える化」プロジェクト（内閣府） 等

「コーポレートガバナンス・コード」と 「企業と投資家との対話」

中短期工程表「緊急構造改革プログラム(産業の新陳代謝の促進)⑧」

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度～	KPI
	通常国会	概算要求 税制改正要望等 秋 年末	通常国会			
事業再編・事業組換の促進②	<p>＜「コーポレートガバナンス・コード」の策定等＞</p> <p>＜産業の新陳代謝に向けた金融機関等による企業に対する経営支援や事業再生の促進＞</p> <p>＜民間資金を活用した中長期の成長資金の供給促進＞</p> <p>＜企業の収益力向上のための海外展開支援＞</p> <p>＜グローバルベンチマークの設定による収益力向上に向けた取組や新陳代謝の後押し＞</p> <p>＜持続的な企業価値の創造に向けた企業と投資家との対話の促進＞</p>	<p>コーポレートガバナンス・コードの検討・策定</p> <p>持ち合い株式の議決権行使の在り方についての検討 政策保有株の保有目的について、具体的な記載・説明が確保されるための取組 上場銀行、上場銀行持株会社について少なくとも1名以上、できる限り複数の独立社外取締役の導入促進等</p> <p>企業に対する経営支援や事業性を重視したファイナンス等の促進 企業再生に関する法制度や実務運用の在り方の見直し</p> <p>エクイティ、メザニン・ファイナンス、中長期の融資等の民間資金を活用した中長期の成長資金の供給促進のための環境整備 関係省庁連携の下で議論する場の立ち上げ・検討</p> <p>新たなJBIC「海外展開支援融資ファシリティ」の実施</p> <p>グローバルベンチマークについて検討</p> <p>グローバルベンチマークを踏まえつつ、必要に応じ、産業競争力強化法第50条等により、収益力向上に向けた取組等や新陳代謝を後押し</p> <p>株主総会の開催日等についての運用の在り方の検討や、産業関係団体等におけるガイドラインの検討</p> <p>関係省庁や関係機関等から成る研究会を立ち上げ、企業が一体的な開示をするまでの実務上の対応等を検討</p> <p>中長期的情報の開示や統合的な報告の在り方、企業と投資家の対話・エンゲージメント促進の方策等を検討するための産業界・投資家コミュニティ、関係機関から成るプラットフォーム作りを推進</p>				

日本版スチュワードシップ・コード

- ◆『責任ある機関投資家』の諸原則《日本版スチュワードシップ・コード》
- ◆受け入れを表明した機関投資家は127(5月末現在:6月10日発表)
- ◆公表ウェブサイトを明記 3か月ごとに集計・公表

投資信託銀行等	6
投信・投資顧問会社等	86
生命保険会社	14
損害保険会社	5
年金基金等	12
議決権行使助言会社等	4
合 計	127

日本版スチュワードシップ・コード

1. 機関投資家は、スチュワードシップ責任を果たすための明確な方針を策定し、これを公表すべきである。
2. 機関投資家は、スチュワードシップ責任を果たす上で管理すべき利益相反について、明確な方針を策定し、これを公表すべきである。
3. 機関投資家は、投資先企業の持続的成長に向けてスチュワードシップ責任を適切に果たすため、当該企業の状況を的確に把握すべきである。
4. 機関投資家は、投資先企業との建設的な「目的を持った対話」を通じて、投資先企業と認識の共有を図るとともに、問題の改善に努めるべきである。
5. 機関投資家は、議決権の行使と行使結果の公表について明確な方針を持つとともに、議決権行使の方針については、単に形式的な判断基準にとどまるのではなく、投資先企業の持続的成長に資するものとなるよう工夫すべきである。
6. 機関投資家は、議決権の行使も含め、スチュワードシップ責任をどのように果たしているのかについて、原則として、顧客・受益者に対して定期的に報告を行うべきである。
7. 機関投資家は、投資先企業の持続的成長に資するよう、投資先企業やその事業環境等に関する深い理解に基づき、当該企業との対話やスチュワードシップ活動に伴う判断を適切に行うための実力を備えるべきである。

日本版スチュワードシップ・コード

ESG投資を表明している機関投資家

《日本版スチュワードシップ・コード》受け入れを表明した
127の機関投資家の内(5月末現在:6月10日発表)

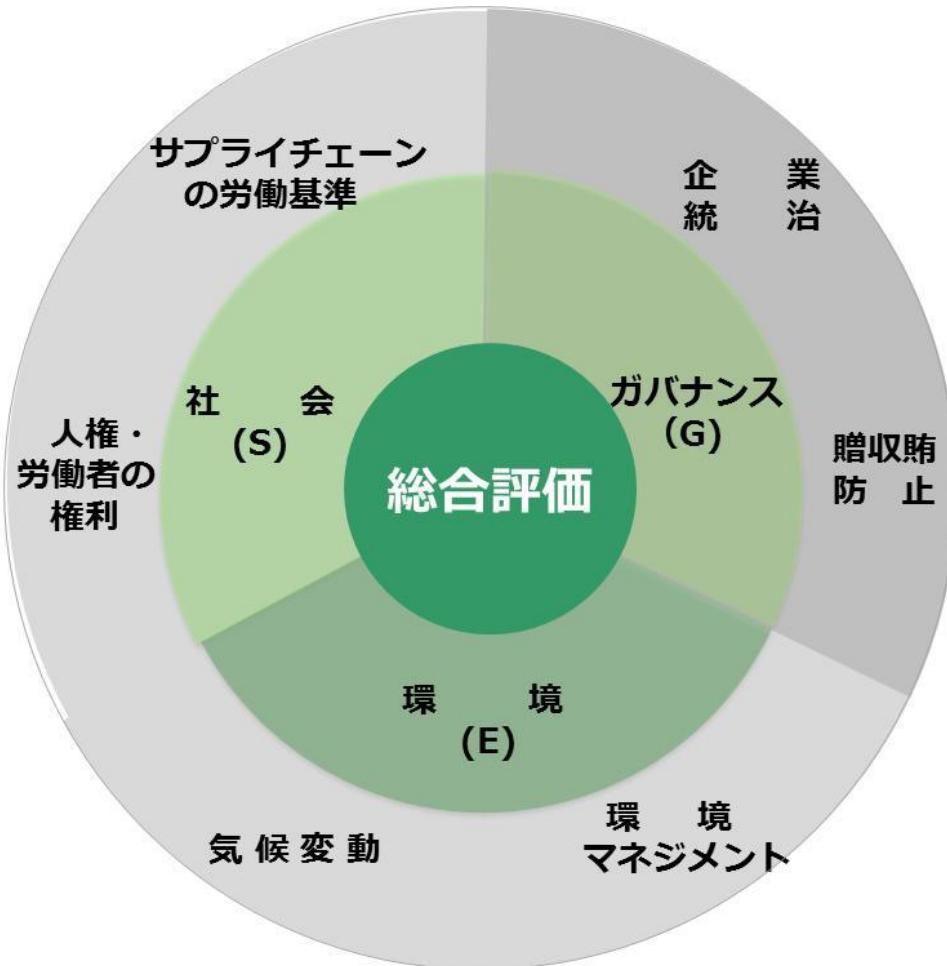
方針を公表している機関投資家	30
(内、ESG投資を表明している機関投資家)	(8)
方針公表予定の機関投資家	21

『日本版スチュワードシップ・コードの受け入れ』

ニッセイアセットマネジメント

- 私たちは、企業価値を中長期の業績予想をもとに算出しますが、そのためには財務情報に加えて **非財務情報** の取得が不可欠と考えています。
- 運用担当者は、「企業との対話」を通じて **非財務情報** を積極的に取得し、当該企業の中長期的な 経営ビジョンや業界の構造変化などの外部環境等を勘案し、中長期の業績予想を行います。
- さらに、私たちは投資先企業の持続的成長力(サステナビリティ)を把握するための軸として、**ESG 評価**を行うことが重要であると考えています。そのため私たちは独自の **ESG 評価**を運用プロセスに組み込み、**中長期の業績予想**の確信度を向上させるよう努めています。また、運用担当者は **ESG 評価**を活用して「企業との対話」をより深いものとすることで、投資先企業の的確な状況の把握に努めています。

FTSE4Good レーティング



総合点数(1-100)
ピラード点数 (1-10)
I C B スーパーセクターとの相対値

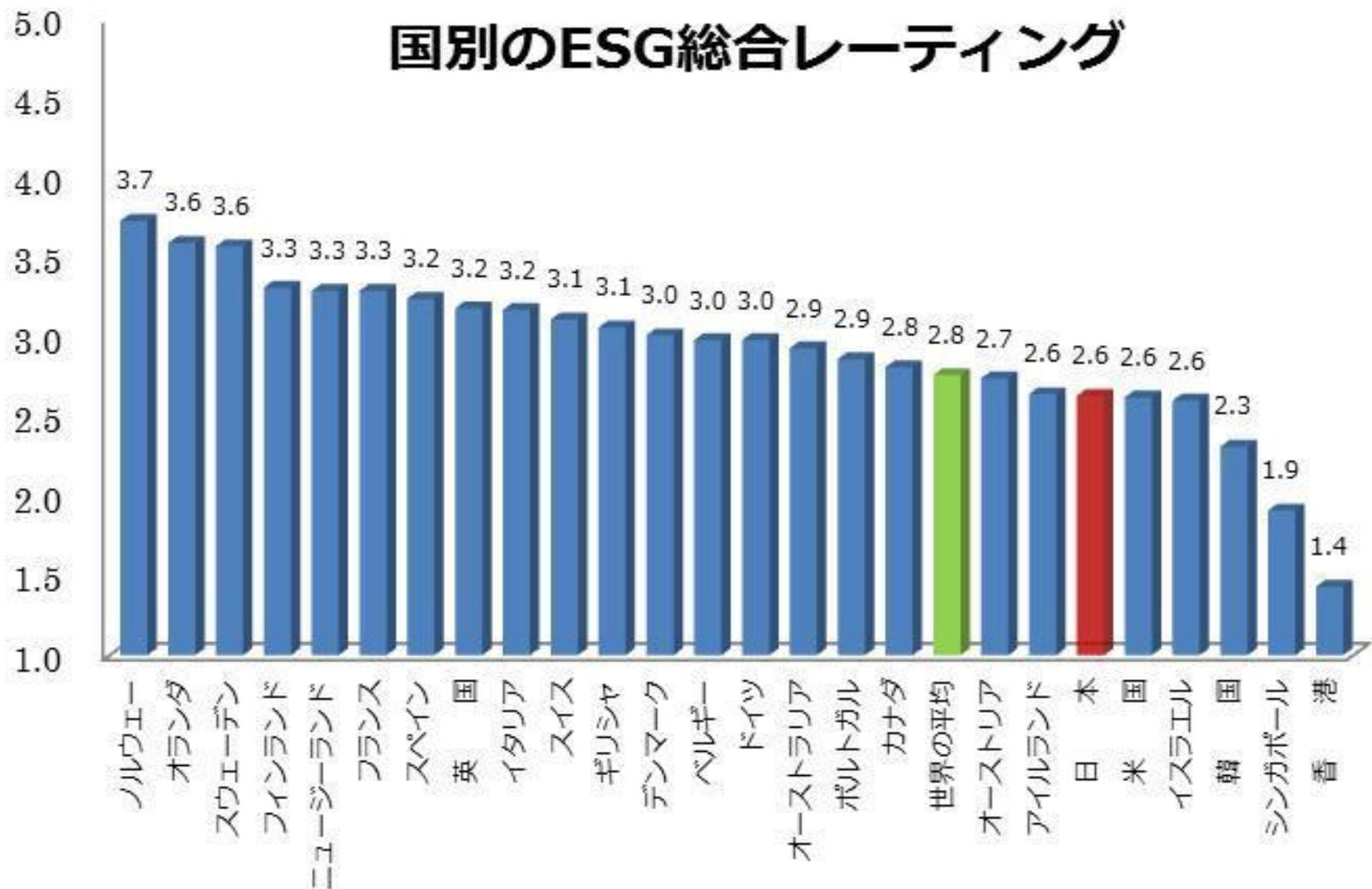
テーマ・ピラー
リスク (0-3)

リスク	定義
3	高
2	中
1	低
0	NA

テーマ・ピラー・
総合点数 (0-5)
絶対値

点数	定義
5	ベスト・プラクティス / リーダー
4	グッド・プラクティス以上である
3	グッド・プラクティス FTSE4Good Index レベル
2	グッド・プラクティスがいくつかある
1	開示が十分でない
0	開示されていない

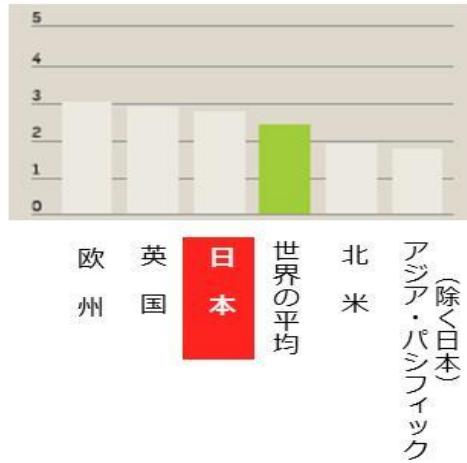
日本のレーティング



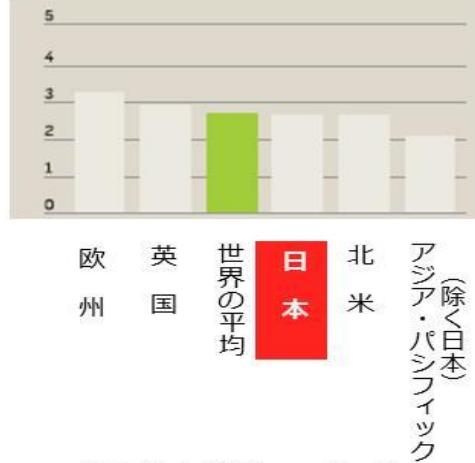
日本のレーティング

FTSE4Good ESG Ratings の国・地域別評価

環境マネジメント



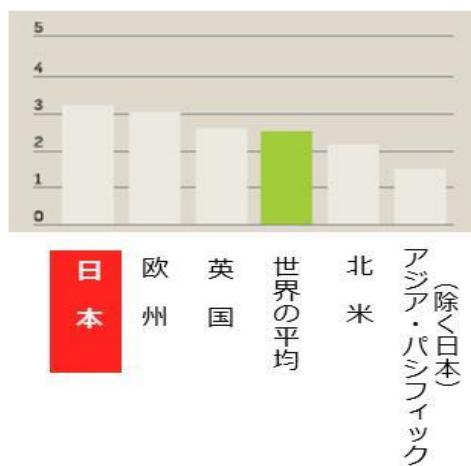
人権と労働者の権利



企業ガバナンス



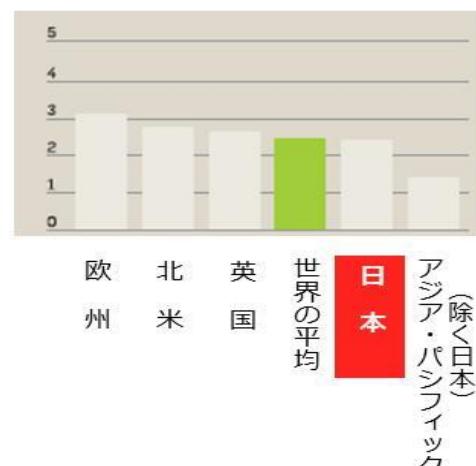
気候変動



サプライチェーンの
労働基準



贈収賄防止



FTSE4Good Policy Committee



**Sir Mark Moody-Stuart
(Chair)**
Chairman,
UN Global Compact
Foundation



**Dr Craig Mackenzie
(Deputy Chair)**
Head of Sustainability,
Scottish Widows
Investment Partnership



Masaru Arai
Advisor to the Board,
Daiwa Asset
Management



Andy Banks
Head of Corporate
Governance,
Legal & General
Investment Management



David Bull
Executive Director,
UNICEF UK
Tom Delfgaauw
Independent
former Chair,
AccountAbility Council



Prof. Tom Donaldson
Chair, FTSE4Good US
Advisory Committee,
The Wharton School



Reg Green
Chair, FTSE4Good BMS
Expert Committee
former Chair, Henderson
Global Investors SRI
Advisory Committee



Will Oulton
Head of Responsible
Investment, EMEA
Mercer



Toby Shillito
Director, CR Index and
Advisory Services
Business in the
Community



Christopher Sutton
Senior Investment
Consultant,
Towers Watson
Helen Wildsmith
Head of Ethical and
Responsible Investment,
CCLA



Simon Williams
Independent
former Director of
Corporate Affairs,
Co-operative Bank



**Mark Makepeace
(ex officio)**
Chief Executive,
FTSE



**Peter Webster
(ex officio)**
Executive Director,
EIRIS

FTSE Responsible Investment Unit



David Harris
Director, Policy
Committee Secretary
david.harris@ftse.com



Jayn Harding
Principal Advisor
jayn.harding@ftse.com



Tony Campos
Senior Executive
tony.campos@ftse.com



Arisa Kishigami
Executive
arisa.kishigami@ftse.com



Stephanie Zhu
Analyst
stephanie.zhu@ftse.com



Victoria Barron
On secondment from CCLA
victoria.barron@ftse.com

EIRIS



Back row, left to right:
Mairead Hancock, Head of Client Services;
Carlota Garcia-Manas, Head of Research;
Emma Cahill, Client Relationship Manager

Front row, left to right:
Jaspreet Duhra, Client Relationship Manager;
Peter Webster, Executive Director

FTSE4Good US Advisory Committee: Prof. Tom Donaldson (Chair); Ron Berenbeim, The Conference Board; Joan Deneher, PineBridge; Adam Greene, US Council for International Business; Craig Metrick, Mercer Investment Consulting
FTSE4Good Breast Milk Substitutes Marketing Expert Committee: Reg Green (Chair); Laura Brooks, Independent; Yve Newbold, Global Ethics Initiative; Neville White, Ecclesiastical Investment Management

ESGリスク

EIRISのケース：

管理が不十分なために生じる ESGリスク

✓ 気候変動: 1兆5000億ドル

✓ 贈収賄: 2兆5000億ドル

✓ 人権: 6兆ドル

ESGリスク

企業の経営層による回答を5段階で評価

各段階はそれ以前の段階
の指標を全て含む

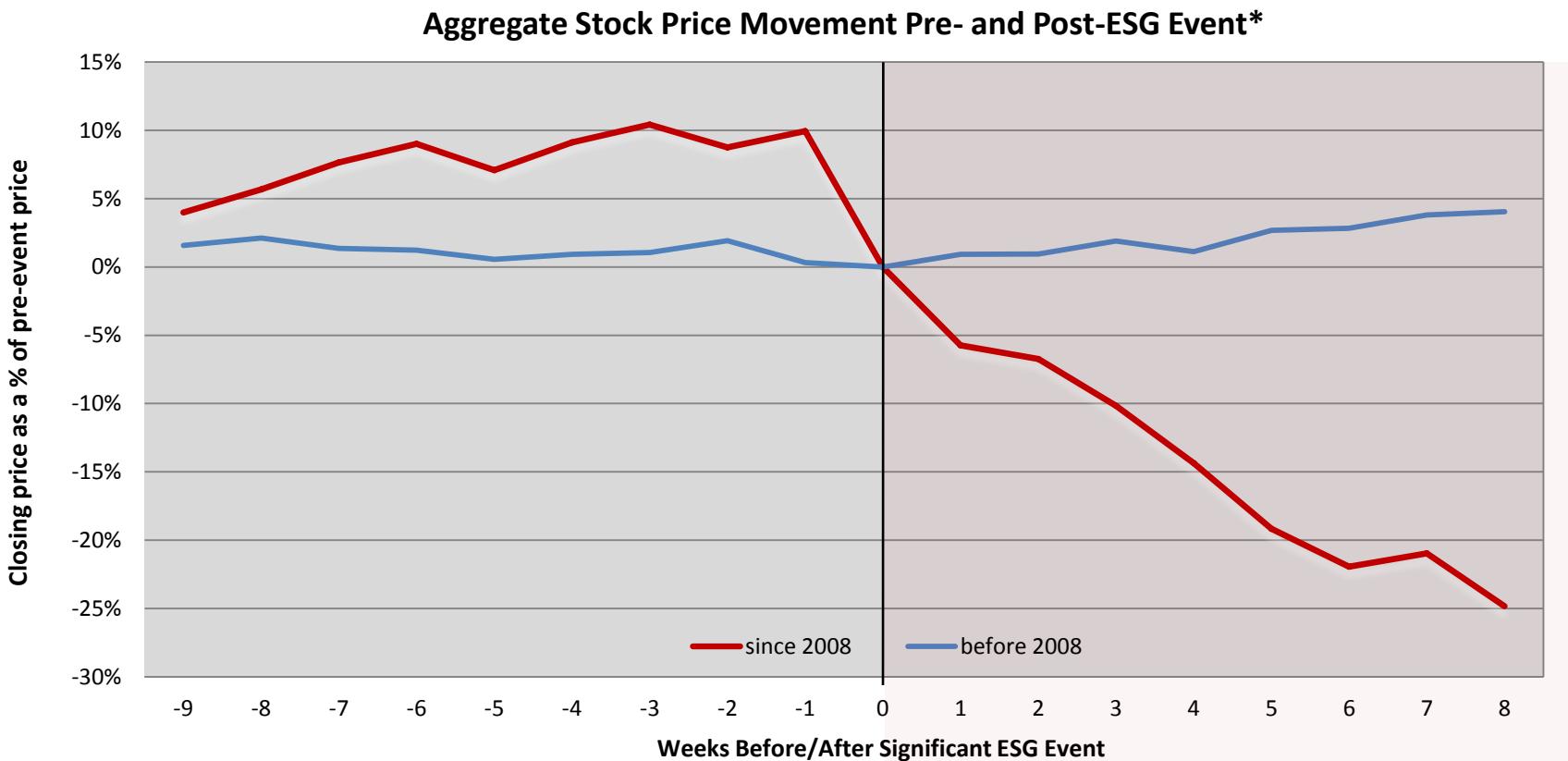
根拠が示されていない	根拠が限定期	中位	優れる	先進的
------------	--------	----	-----	-----

■少なくとの一つの指標で根拠となるものがある

- GHG削減の長期目標あるいは短期のマネジメント目標
- 排出量の開示を含む
- 上級管理職が責任を持つ
- 排出の絶対量と標準量
- 気候変動に取り組む責任についての表明
- 検証
- 目標達成度の報告
- 気候変動関連製品のコミットメント(ある場合)
- 操業による排出の削減(最低7.5%)
- 気候変動のパフォーマンスとリンクした報酬

ESG問題の株価への影響

- ESGファクターは、企業の事業に影響を与え、株価の修正を引き起こすようになっている。



*'BP PLC', 'Tokyo Electric Power', 'Massey Energy', 'StatOil', Exxon Mobil', 'Conoco-Phillips', 'Chevron', 'News Corporation', 'PG&E', 'Foxconn', and 'Royal Dutch Shell' from 1980 to 2011
Source: MSCI ESG Research